

能登半島地震でのDMAT及び 災害医療コーディネーションサポートチーム活動

災害医療国際協力学分野
佐々木宏之

災害放射線医学分野
稲葉洋平

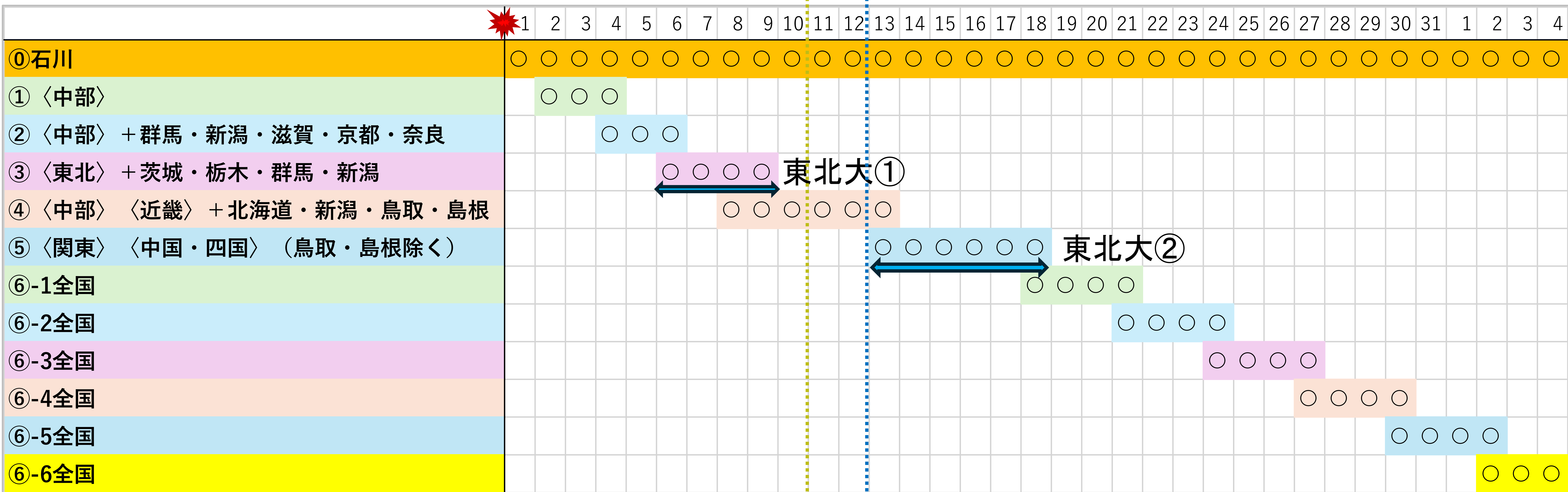
東北大学病院DMAT隊員の活動

1 隊目 市立輪島病院拠点化、病院
(1/6~10) 支援、患者搬送

2 隊目 市立輪島病院指揮所・診療
(1/13~18) 支援、避難所巡回

(3 隊目 高齢者施設支援)
(2/4~8)

DMAT派遣状況：異例に長期化



1/1 16:10 発災 自動待機基準
 1/2 0:45 中部ブロック以外自動待機解除
 熊本 東日本

2011年 東日本大震災
 383チーム(約1800人)
 12日間(3/11~3/22)

2016年 熊本地震
 466チーム(~第4次、2017人)
 10日間(4/14~4/23)

2024年 能登半島地震
 1028チーム(~第11次(?), 1/30時点)
 35日間(1/1~?) ※延チーム数3623

厳しい派遣環境

【緊急】能登半島地震対応:DMAT(4次隊)の派遣要請について(抜粋)

7. 能登半島での生活環境について

- 宿泊: **ホテル無し、現地病院での宿泊。寝袋等**が必要です
- **食料・飲料水: 現地確保は困難**です。各自携行が必要です
- 能登半島内での**移動中に使用できるトイレはありません**

DMAT派遣
長期化の理由(?)



外来ロビーでの寝泊まり

日本災害医学会 災害医療コーディネーションサポートチーム



活動期間：令和6年2月26日(月)～3月3日(日)
(全体の活動は2月18日(日)から開始)

活動場所：石川県庁11階 保健医療福祉調整本部
(他に輪島市及び珠洲市CST本部)

活動内容：災害時亜急性期以降の本部運営サポート等

保健医療福祉で活動した組織(主だったもの)

- ① DMAT
- ② 日本赤十字社
- ③ JMAT (日本医師会)
- ④ NHO (国立病院機構)
- ⑤ PWJ (NGO)
- ⑥ AMAT (全日本病院協会)
- ⑦ TMAT (徳洲会グループ)
- ⑧ AMDA (NGO)
- ⑨ HuMA (NGO)
- ⑩ KISA2隊 (在宅医療)
- ⑪ 自衛隊衛生班
- ⑫ JRAT (リハビリテーション)
- ⑬ DPAT (精神)
- ⑭ DHEAT (保健行政)
- ⑮ 災害支援ナース (看護協会)
- ⑯ 広域支援看護師 (厚労省)
- ⑰ JDA-DAT (日本栄養士会)
- ⑱ 全民救 (民間救急)
- ⑲ 災害医療ACT研究所 (NPO)
- ⑳ DICT (日本環境感染学会)
- ㉑ DMORT (死亡者家族支援)
- ㉒ JDAT (日本歯科医師会)
- ㉓ ジャパンハート (NGO)
- ㉔ DSAM (日本鍼灸師会)
- ㉕ DWAT/DCAT (介護福祉)
- ㉖ 日本薬剤師会
- ㉗ DOHAT (災害産業保健、支援者健康管理)
- ㉘ 厚生労働省 (本省)
- ㉙ 石川県健康福祉部
- ㉚ **JADM-CST (日本災害医学会)**

活動目的

1. 支援多団体間の連携・調整
(特にJMAT-他団体間)
2. 看護師不足の支援調整

(※最初から活動目的が決まっている場合も、追加で担当する場合もある)

2. 看護師不足の支援調整



CST 輪島

- Fクリニックが看護師足りず疲弊している。院長は風呂にも入っていない。

- K医院は看護師3人全員が辞めてJMAT看護師が支援に入っている。

- Tクリニックも看護師辞めて困っている

- 厚労派遣看護師11名が手持ち無沙汰にしている。でも総看護師長は手放したくないらしい。



CST 珠洲

- 珠洲のIクリニックが閉院する。働いていた看護師は浮くかも。

- 能登北部医師会にはこちらから連絡を取っている(ので、動かないで欲しい)



JMAT



CST 県庁本部



厚労省

- カウンターパート探し→8階に発見
- 厚労派遣の輪島の余剰(かもしれない)看護師をクリニック支援に回せるか→制度上、無理



公益社団法人

石川県看護協会

- リエゾンに状況説明→県看護協会e-ナースセンター担当者へ

- 輪島、珠洲市内在住、求職中の休眠看護師が複数名いる。求人施設にweb登録もしくは電話連絡してもらいたい。

- クリニックの意向確認。web入力サポート



Japan Heart

- 疎になっていた関係を回復

- 担当者とK医院を連携。1ヶ月間の看護師派遣を頂けることに。



- 県担当者にコネク

- 看護師雇用の財政的支援枠組を考慮できないか依頼→厚労省と相談

DC-CAT他、連携

2. 看護師不足の支援調整

都道府県看護協会による無料職業紹介事業

eナースセンター
e nurse center

求職者（看護職）の方へ

Japan Heart
目の前のひとりの生まれてきて良かったを、
日本の医療から

トピックス イベント 企業・団体の方へ 遺贈による寄付 取材・講演のご依頼 スタッフ募集 お問い合わせ SNS English

ジャパンハートとは 活動について 支援する 参加する ボランティア参加 資料請求 寄付をする

国際医療NGO ジャパンハート シンポジウム

協賛：株式会社一休

2024. **3.9** (SAT)

事前申込制 | 参加費 **無料**

時間 14:00 - 18:00

会場 東京会場 / オンライン

プログラム

- ・トークセッション
- ・医療×教育
- ジャパンハートの活動より
- ・吉岡秀人によるクロージング

目の前のひとりの
生まれてきて良かったを、
日本の医療から

マンスリーサポーターになって応援する > 詳細はこちら

2025年
ジャパンハートアジア小児医療センター
新病院開設

寄付をする

Japan Heart
目の前のひとりの生まれてきて良かったを、
日本の医療から

災害医療物資支援
令和6年
能登半島地震

ご寄付・ご支援のお願い

貧困層に無償治療を行う
アジアの新たな高度医療拠点へ

2025年
ジャパンハートアジア小児医療センター
新病院開設

寄付で支援する



あなたの思いを
未来の世代へ

遺贈・相続財産のご寄付のご案内



小児がんの子どもと家族の
生涯深く心に残る思い出づくりをサポート

寄付をしてジャパンハートの活動を支援する

活動時期の被災地の課題

1. 支援者の撤収→地元へのハンドオーバー
2. 看護師、医療事務不足（BCP的に）
3. 地域医療体制の維持・継続（DCP的に）
4. 住宅不足、水復旧遅延